

北海道室蘭清水丘高等学校々歌

《眸をあげよ 空遠く》

斉唱・同声二部又は混声四部合唱

詩 風 卷 景次郎
曲 長谷川 良 夫

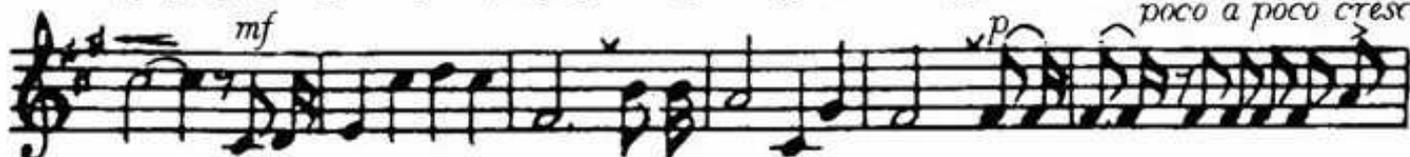
♩ = 約 104



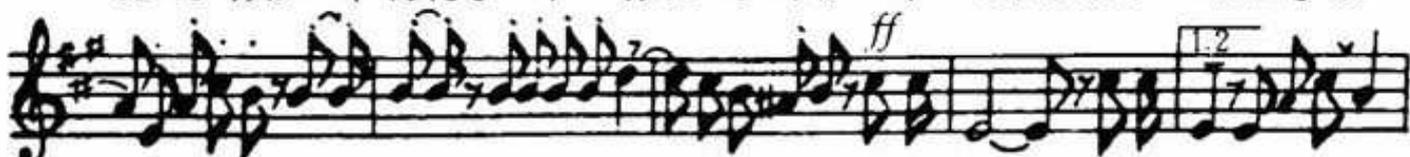
1.ひとみをあげよ そらとおく いら
2.ひとみをあげよ そらとおく しみ
3.ひとみをあげよ そらとおく みさ



えのはての やまあをーしーわか しわか しああわがーかく
ずがをかの まどのほーしーさえよ さえよ ああわがーかく
きをめぐ る うみひろーしーむつ べむつ べ ああわがーかく



えんのぞみはるかに われらたてば はつらつ まことすが
えんひびにつとめて われとまなぶ せいしん ちえにひか
えんわか くだしく われらみがく じゅんしん つねにきよ



ーただしはつらつ まことすがーただしみよやーみよやみよやこ
ーりみてりせいしん ちえにひかーりみてりみよやーみよやみよやこ
ーきまさごじゅんしん つねにきよーきまさごみよやーみよ



のひとー やみよやこのーつどい を
のおかー

一、眸をあげよ空遠く…
入江のはての山背し。
若し若し

ああわが学園

望はるかにわれら立てば
澗刺まこと姿ただし。
見よや見よやこの人。

二、眸をあげよ空遠く…
清水が丘の窓の星。
冴えよ冴えよ
ああわが学園

日日につとめてわれと学ぶ
生新智慧に光みてり。
見よや見よやこの丘。

三、眸をあげよ空遠く…
岬をめぐる海ひろし。
むつべむつべ
ああわが学園

若くただしくわれら磨く
純真常にきよき真砂。
見よや見よやこの集を。

(備考一九五三、六月七日作曲)